



夏目獣医科病院
夏目 里枝子 先生

profile プロフィール

麻布大学獣医学部卒業
2010年～2011年 名古屋市協同組合 動物看護学院担当委員就任
2011年～2017年 夏目獣医科病院 院長就任
2017年～ 名古屋市獣医師会
動物看護師養成事業担当理事就任

Q. 院長をされているきっかけを教えてください

夏目獣医科病院は私の父が開業した病院で、私は父の後を継いで二代目の院長になりました。設備やノウハウという点では、自分で一から開業された先生よりは大変ではなかったかもしれませんが、後を継ぐにあたって色々なプレッシャーや悩みはありました。

たとえば飼い主さんとの関係では、父の代から通ってくれている飼い主さんの中には父のやり方を信頼している方もいらっやって、その方からは私のやり方は違うと指摘されたりもしましたのでどうしたら私のことを信頼してもらえるか悩んだりしました。また、経営的な部分でもっと病院を大きくしたほうがいいのではないか、自分のカラーを出すにはどうしたらよいかなどのプレッシャーもありました。これは私だけではなく継承者の先生だったら皆さんが持つ葛藤だと思います。

Q. 後を継ぐということも大変ですね。辞めたいと思わなかったのですか？

はい。その他にも父から仕事を教えてもらい引き継ぐという点も大変でしたね。他人と違って親子だと遠慮がなかったりとか。実際、30代前半に色々考えて退職した時期もあるぐらいなんです(笑)でもそのような期間を持つことで冷静になって獣医療と向き合うことができたのかもしれない。向き合ってみて、やはりこれが自分の天職なんだと感じて今もそう思っています。



Q. 名古屋市獣医師会の仕事にも力を入れていますね

最初はそんな感じではなかったんです。理事職まで行うようになったきっかけは名古屋市獣医師会の会員だったことで、獣医師会の運営する動物看護師の養成学校の委員をしたことでした。

「名古屋動物看護学院」という一年制の学校で、37年前に日本でまだ動物看護師という言葉がなかったかもしれない時にできた学校です。その委員会で学生に教える担任業務などを行っているうちに、担当理事になりました。

この動物看護学校は獣医師会が学校を運営していることも珍しいと思いますが、動物看護師のための委員会が地方獣医師会内に設置されているという点もとても珍しいと思います。以前ペットブームの時代には一学年30～40人ぐらいの学生数だったのですが、名古屋動物看護学院は今年度いっぱい閉鎖になり、今の学生が最後の生徒になります。

実習をメインとしたとても実践的な学校でしたが、動物看護師の認定資格の制度が確立され、資格化が重視されてきた情勢の中、1年制の学校だとニーズが少なくなってきたんでしょうね。それでも入学してきた学生の夢を叶えられる場所だったと思います。

Q. 動物看護師養成学校の担当をして感じたことは？

委員の時からすると10年ぐらい関わっています。

動物看護師の学校運営を理事として携わることができたのは私自身とても勉強になり、いい経験となりました。人に教えることの難しさを知ったり、沢山学生達と接する事で様々な悩みを持っている事を知ることもできました。

色々な学生たちと知り合い、その後も連絡を取り合う事もあり、本当に素敵なお縁になり私にとって宝となりました。彼女達から学んだ事は本当に大きいです。

高校卒業したばかりの学生から社会人経験者や50代の学生が同じ教室で机を並べて、同じ夢を持ち、動物看護について学べるアットホームな学校が私自身も大好きでした。色々なトラブルもありましたが、今は自分を成長させてくれた場所だと思っています。



Q. 動物看護師の国家資格化についての思いを教えてください

私としては動物看護師についての制度が変わるならば卒業していった学生達のために、送り出した者の責任としてフォローをしてあげないといけないと思いました。

国家資格化は動物看護師さん達のモチベーションを高めるためにもなりますし、ひいては動物のためになっていく制度のはずです。

現場の動物看護師さんが国家資格を取得するか取得しないか個人の選択ですが、それを自分達自身で判断できるようになるように情報を提供したり、獣医師側もフォローしていく必要があると思います。

また、そのように国家資格に関わらず病院スタッフの支援できる動物病院に動物看護師も勤めたいと思うでしょう。

Q. 今後やりたいことは

もちろん今でも臨床現場では動物看護師は必要不可欠な存在ですが、今後もチーム医療を充実させ、動物医療を発展させるためには、動物看護師の存在はとても重要です。

我々獣医師もそろそろ愛玩動物看護師法とどう向き合うのか、獣医師として真剣に考えスタッフたちを支援するべきだと思います。

私も、動物看護師の皆さんに今後も役に立つような情報や卒後教育などを提供していきたいですし、また、獣医師にもそれを呼び掛けてもらうような発信をしていけたらなと思っています。

動物看護学院の卒業していった学生がこの世界に入ってよかったなと思えるような業界になることを一歩ずつ行動することで目指したいと思います。